

実社会課題解決プロジェクト

—学びの舞台は、教室や実験室だけじゃない！本物の社会で学び成長する科目！—

本科目は、実際の社会における問題から具体的な課題を発見し、それを解決していくという実践的な取り組みを通じて、課題解決の方法をデザインする力、多種多様なデータの収集と解析する知識・技能、さらにはチームで協働できるように必要なコミュニケーションの技能、創造性、批判的思考力などを高めていこうとするものです。学年進行に応じて段階的に、本物の課題に取り組む機会が与えられ、学んだ知識技能を課題解決に活用することで、用いた知識や技能についての理解を深めるだけでなく、自らが持っている知識・技能・経験では対処できない課題に直面することで、次の学びを方向づけることをねらいます。

(1・2年次必修科目、3・4年次選択科目)

《スケジュール (予定)》

令和元年 11 月末 企業への説明会の告知
令和 2 年 1 月末 企業への説明会実施
(協力企業の募集開始)
:
2 月末 協力企業の募集締切
3 月末 協力企業の決定

《お問い合わせ》

長崎大学 情報系新学部創設準備室
電話： 095-800-4101
メール： infodatapbl@ml.nagasaki-u.ac.jp
授業担当教員： 北村史・瀬戸崎典夫

問題の中から解決すべき課題を明らかにして、実際に解決のために取り組む活動を通じて、知識技能を深める。また、わからないことやつまずきには、教員からのアドバイス、知識技能の提供を得て対処していく力を養う。

チームをつくりプロジェクトを進めていくということがどのような活動なのかを体験的に理解する。

1年次
必修

2年次
必修

3年次
選択

プロジェクトのアドバイザーとしてチームをファシリテートする力を養う。

4年次
選択

プロジェクトのマネジメントをする力を養う。

→ 進学
→ 就職
→ 起業

企業のみなさまへ
お願い

本科目の実践は、大学が企業のみなさまとともに人財を育成し、協働して学術的な活動を豊かにしようとする社会的な取り組みとなることを目指しています。実際の世の中にある本物の課題を大学に持ち込んでいただくことで、学生にとっては学びの機会が生まれ、企業にとっては、大学と協働してその課題が解決することにつながります。他大学ではあまり例のない大きな規模の試みであり、多くの企業のみなさまとの協働を実現したく、本学学生に挑戦する機会を与えていただきますよう、お力添えください。IoT、AI、ビッグデータ、ソフトウェア工学、データベース、パターン認識、暗号化、VR/AR/MR など、様々な分野の専門家とそれを学ぶ学生とともに課題解決に取り組みましょう！